

クリニカルパスの 看護計画における問題点

四国がんセンター クリニカルパス推進委員会
○吉岡真美・羽澤昌里・宮内智波・
池田終子・小川智恵・玉田五十鈴

はじめに

四国がんセンターでは、2011年2月28日より
クリニカルパス(以下パス)の電子化に伴い
【パス適用患者に対する看護過程の見える化】を目的に
パスマスタ内に標準看護計画を作成した。
導入5年目を迎え、看護師対象に「パスの看護計画に
おける意識調査と現状把握」のアンケート調査を実施
し、パスの看護計画における問題点について検討した。

方法

1. 対象 病棟看護師 (287名)
2. 期間 平成28年7月20日～7月28日
3. パスの看護計画についての
アンケート調査を実施
4. パスの看護計画の問題点について検討

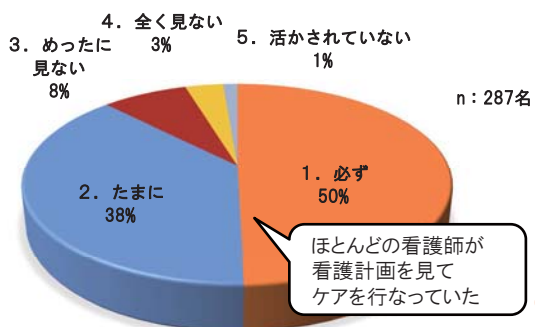
結果

パスの看護計画についてのアンケート調査
(回収率90.3% 有効回答率:98.8%)

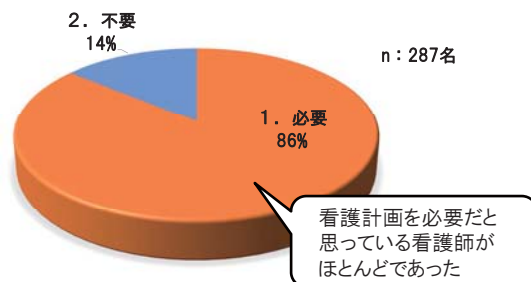
Q1.パスに看護計画が組み込まれていることを 知っていますか



Q2.パスの看護計画をみて ケアを行なっていますか



Q3.パスに組み込まれた看護計画は 必要だと思うか



Q4.パスに看護計画が必要だと思ふ理由

- 統一したケアが実施できる
- 個別性を追加する場所として必要
- 必要度をもれなく取得するため
- 看護を実践するには看護過程があるのが当然
- パスで実施しているケアを看護として意識できる

Q5. パスに看護計画が不要だと思ふ理由

- アウトカムとの整合性がない
- タスクと看護計画の整合性がない
- ケアの継続性がない
- オーバービューで十分ケアを実施できる
- 看護計画の内容が具体的でない

Q6. パスの看護計画を活用するためには どう改善すればよいか

- 実施確認との連動
- パス使用者の意識の統一
- 重症度、医療・看護必要度との連動
- パスの看護計画の運用の統一
- 個別性が追加しやすい
- ステップをまたげる看護計画
- 看護計画の目標とパスアウトカムの連動

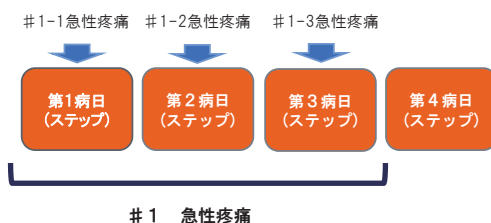
パスの看護計画の問題点について検討

①パスと看護計画に整合性が無いものがある

- パスのアウトカムと看護計画の目標
- パスのタスクと看護計画のT-P-E-P
- 重症度、医療・看護必要度の関連する項目と看護計画のT-P

②効率的に使用できない看護計画

パス適応中に、同じ看護診断の計画が何度も新たに立案・解決されるという状況になっている



③パスの看護計画に対する看護師の認識不足

- パスの看護計画は標準看護計画である
- 患者の個別性は看護計画に追加・修正する必要がある

④パスの看護計画の運用が統一されていない

- パスの看護計画の運用(立案と解決のタイミング)
- パス中止・逸脱時の看護計画の運用方法
- パスの看護計画の修正方法

結論

1. 看護計画を効率的に使用できていない
2. パスと看護計画の整合性がない
3. 患者の状態に対応できる運用になっていない

課題

内容の改善や看護師の認識を統一していく